

# 紙風船



## “紅葉真っ盛り”

今日から11月。朝夕めっきり寒くなり、暖房が欠かせない時期になりました。この寒さと歩を合わせるように、ここ桧木内の里の山々は木々を紅葉させ深まる秋を満喫しているようです。

さて、先週25日(火)には「校内マラソン大会」と「なべっこ」を好天に恵まれた中で行うことができました。マラソン大会では「これまでの自分の記録を更新できるように、自分自身に挑戦してください。」と話をしました。走ることが得意な子どもはもちろん、走ることが苦手な子どもたちからも「自分に挑戦する姿」を見ることができました。目標に向かって最後まで頑張る姿、とってもキラッと輝いていました。

<各カテゴリー1位の子どもを紹介します>

- |         |           |         |           |
|---------|-----------|---------|-----------|
| ○1・2年男子 | 1位：小野晴斗さん | ○1・2年女子 | 1位：武藤桜南さん |
| ○3・4年男子 | 1位：高橋空夢さん | ○3・4年女子 | 1位：千尋若葉さん |
| ○5・6年男子 | 1位：武藤大翔さん | ○5・6年女子 | 1位：若生美空さん |



なべっこは、上桧木内の「紙風船館」の広場で行いました。火をおこすところから始まり、野菜や具材を切り、味付けをして完成まで、子どもたちが役割分担をしながら、全部子どもたち自身でなべっこを作りました。5、6年生が主導権を握り、下学年の子どもたちも、与えられた役割を一生懸命に果たそうと頑張っていました。班で輪になって食べている子どもたちの表情は、味にも満足、当然自分たちのなべっこが一番おいしいという自信にあふれ、笑顔でなべっこの味を楽しんでいました。縦割り班で協力しながらのなべっこは、大成功でした。

ご家庭からは、調理器具や可燃材料などの提供にご協力いただきたいへんありがとうございました。



連載「00シリーズ」

### 新『学習指導要領』

11号では、○「学習指導要領」とは何か？ ○新『学習指導要領』になると何年生から関係があるのか？について書かせていただきました。

今号では、新『学習指導要領』では、主に“どんなところが改定されるのか（変わるのか）”についてお知らせしたいと思います。

新『学習指導要領』の改訂内容として、①「小学校での『英語』の教科化」、②「『道徳』の教科化」、③「小学校での『プログラミング学習』の実施」などがあります。

①については、

- 5、6年生で『英語』を週2時間行うこと（現在は「外国語活動」を週1時間行っています）。その内容は現在の「話す・聞く」に加えて「読む・書く」が加わること。
- 3、4年生は『外国語活動』を週1時間行うこと（現在は行っていません）。
- ◇ 『英語』の必修化に関しては【平成30年度からの先行実施】といわれていますので、現在の3年生が5年生の時に『英語』を行うこととなります。同様に、現在の1年生が3年生になる時に『外国語活動』を行うこととなります。

学校として考えなければいけないことは、5、6年生が行う『英語』や3、4年生が行う『外国語活動』の時間をどのようにして確保するかということです。なぜなら、新『学習指導要領』になっても、週当たりの時間数は変わらない（増えない）からです。<②、③については、次号以降に続きます>

### 「講演会」 のお知らせ

来る11月12日(土)午後6時～角館樺細工伝承館において、作家の高橋源一郎さんを講師として「14歳で読む本」という演題での「文化講演会」(角館図書館後援会主催)が行われます。

高橋さんは『優雅で感傷的な日本野球』で第1回の三島由紀夫賞を受賞した著名な作家です。読書の秋にふさわしい講演会となると思われますので、是非いかがでしょうか。入場は無料です。